

(様式第2号)

事業所名 グループホーム三瀬

## 目標達成計画票(事業所記入)

作成日: 令和元年 7月 17日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	アンケート	利用者のいるリビングで、職員が記録？書き物をしているので、別室で行った方が良いのでは？記録を行いながらだと、仕事(介護)に集中できない。時間があるのなら、利用者と一緒に何かを行うなど、できないのか？という不快な印象が来客から見える。	リビング中央柱に移動テーブル(介護記録記入用)、椅子の設置を控える。	移動テーブル(介護記録記入用)、椅子は、常時、介護記録室に設置。 介護記録物は、リビング内書類立てに保管。入居者が気に掛けない場所で介護記録を記入する。	2ヶ月
2	外部(10)	チームでつくる介護計画とモニタリングについて、必要な関係職員と話し合いの時間を取る事が難しく意見交換ができていない。	全職員と意見を取りながらモニタリング、評価、アセスメント、新たな介護計画作成ができるようになる。	ケアプラン作成協議ノートを用いて、更新月及びプラン評価月の際、プランを掲載し現況、プラン内容の変更有無、継続の有無など意見を記入していただく。意見を回収しモニタリング、評価、新たな介護計画を作成できる。	6ヶ月
3	外部(15)	食事を楽しむことのできる支援について、夕食時は職員も検食を兼ね利用者と一緒にテーブルを囲んで食事を楽しんでいるが、朝食・昼食と毎食事ができていない。	昼食から利用者と一緒にテーブルを囲んで食事を楽しむ。	管理者を中心に時間が取れる際に一緒に食事を取る。	1ヶ月
4	外部(13)	災害対策について、職員の少ない夜間に大きな災害が発生すれば、救助避難には地域の方々との協力は必要不可欠であるため、日頃から地域の自治体等の方々との連携体制を確立されていない。	地域の自治体等の方々との連携体制を確立する。	2ヶ月おきに開催する運営推進会議において、民生委員及び地域包括支援センターなどへ災害等が発生した場合の協力を促す。 特養、小規模、当施設全体で執り行う避難訓練等へ参加を促す。	6ヶ月
5					ヶ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入してください。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加してください。